



「豊」かで「和」やかな 豊和

豊和



おひさまだより

旧「豊和村づくり通信」



2020年12月、開畑の道路沿いに
チューリップの球根を植えました。



【開畑エリア】 **チューリップの球根を植えました**

豊和保育所へ時計を寄贈

豊和地区へ移住促進の取り組み

空き家を探しています！（SOSA プロジェクト）

移住者紹介！ ●大寺地区 松原 万里子さん

ソーラーシェアリングの「分かち合い」で豊和を元気に！

豊和村づくり協議会

<https://www.toyowa-village.org/>





【開畑エリア】

チューリップの 球根を植えました

2020年12月13日、飯塚開畑環境保全会と一緒に、開畑にあるソーラーシェアリング設備の道路沿いに、チューリップを植えました。

呼びかけに賛同して集まったのは、小学生のおさんはじめ、豊和以外からの参加者も含めて40人を超えました。

冬晴れの中、3時間足らずで幅5m、180mにわたり2万個を植えました。

4月半ば頃には、色とりどりのチューリップが見事に咲きそろうことでしょう。是非、見に来てください。



豊和保育所へ時計を寄贈



豊和保育所の外時計が故障していて不便という保護者会からの声を受けて、新しい時計を寄贈、2020年12月末に設置（付け替え）しました。

新しい時計は、可愛いイラスト入りの電波時計です。みんなに親しんでもらえると嬉しいです。

豊和地区への移住促進の取り組み

豊和村づくり協議会は、豊和地区への移住支援として以下のような取り組みをしています。

1 豊和地区内のお貸頂ける空家をホームページ等で掲載し、家主（家主が地区内にいない場合は紹介者）さんに3,000円相当の謝礼をします。

2 移住者と空家のマッチングが成功し、移住が実現した場合、マッチングした方と家主にそれぞれ5万円を謝礼として支払います。

3 市の支援の対象とならない移住者（住居を賃借する場合）に一時金15万円を支給します。

SOSA Project からのお知らせ

空き家を探しています！

連絡先

携帯：**090-4476-5180**

メール：ka51600891@icloud.com

担当：青山

■ホームページは「SOSA PROJECT」で検索をお願いします

SOSAプロジェクトは、手作業の米作りと並行して都会から匝瑳へ移住したい方々のサポートもしております。そのために空き家を探しておりますので、情報があればお教えください。空き家の片付け・修繕は移住希望者で行います。家の中にものが残っていても大丈夫です。

これからも生き生きとした豊和地区であり続ける為に、匝瑳で新しい生活を送る夢を持つ若者やご家族の応援をよろしくお願いします。

大寺地区

まつばら まりこ
松原 万里子さん
(まりりん)

今回は大寺在住の
松原万里子さんを紹介します。
取材当日は、田んぼ仲間や移住者が集まるの
「薪割り大会」でした。



●プロフィール 愛知県生まれ。

2011年に東京から匝瑳に移住。
聴覚障がいになり、保育士から事務職に転職、
その後、匝瑳で日々の暮らしに少しずつ自給的な
エッセンスを取り入れ、手しごとを楽しむ。
自宅で、植物や果実などを使ったり、衣服に関する
ワークショップやイベントを開催している。

●移住のきっかけ

松原さんは、東京で生活しながら「自然の中で暮らしたい」という想いが上がってきたそうです。

具体的なイメージを模索する中、自分らしい生き方や自然農などに興味を持つ人が集う、当時池袋にあったオーガニックバーに、友人に連れていってもらったことがきっかけで、「アルカディアの里」付近の田んぼでお米づくりをスタート。田んぼに通いながら移住を決めたそうです。

●リフォームの不安から気づいたヴィジョン

居住を決めた家は古い建物でした。すぐに住める状態ではなかったため、知り合った匝瑳市内の仲間の住居を借りながら、約1年間リフォームをされたそうです。

リフォームは修理する場所が多く、最初は「どうしよう!」と不安になったものの、次第に「楽しい事ができる!」と気持ち変化したそうです。

松原さんの、楽しいことにフォーカスする前向きな想いや欲求が、不安を超える強いエネルギー源となったのではないのでしょうか。

●現在楽しんでいること

松原さんの生活を心身ともに豊かにしてくれるのは、自然の恵みです。土に触れる、植物を楽しむ、葉草や果実の加工…などなど。試行錯誤しながらも、その時々楽しい事の積み重ねに、自然の恵みを受け取る喜びを感じている様子です。

松原さんはファッションにも興味があり、東京にいたころは服を買う機会が多かったそうですが、今は自分で作ることを楽しんでいます。自宅



でも採れる、ヨモギを使った染色は身体にも良いので、更に深めていきたいそうです。

また、新たに畑をお借りし、ベニバナ、藍、綿を育てたいそうです。服づくりの過程でも、自然の恩恵を楽しんでいるようです。

●地域の人の応援

耳が聞こえないことで、当初はコミュニケーションが難しかったようですが、応援してくれるご近所の方に見守られたり、外で草刈りをしていると声をかけてくださるようになったそうです。今では1人で解決できないような作業で困ったことがあっても、地域の方々に応援していただくことが増え、ありがたい…と感じているそうです。

●これからのくらしや活動

好きな服作りやワークショップ、イベントなどを通じて、人とつながっていききたい。人が集い楽しむ「ワンダーランド」になって欲しいと、これからも企画をたてるようです。

●四季のリズムに合わせて生きる

松原さんに、田んぼや移住に興味がある人へのメッセージをお願いしました。

「どう生きるかわからない人に伝えたい。自然の中で土に触れる暮らしは楽しいということ」

「来てみて、日々の生活で発見や季節の移り変わりを肌で感じる。そして四季のリズムに合わせて、自分に無理させない生き方に気づくでしょう」

松原さんが、ご自身で体験したことを通じて、多くの人に、自分の本当の生き方や欲求に気づいてほしい、という願いが伝わってきました。

